

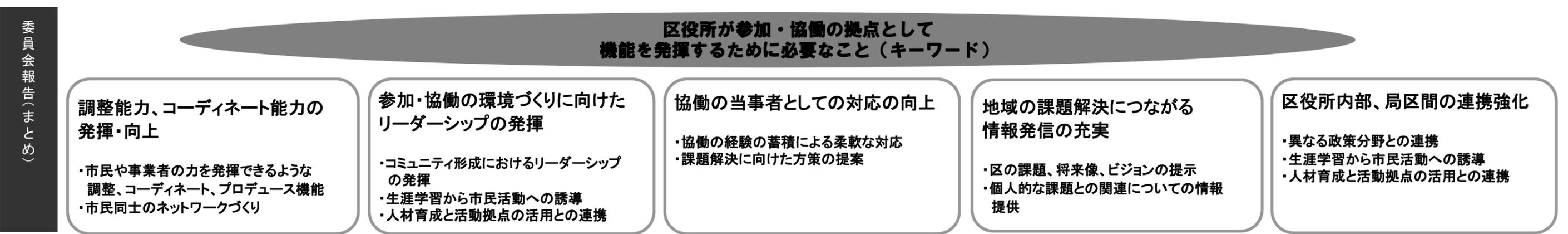
第3期自治推進委員会におけるこれまでの調査審議結果の整理

第3期自治推進委員会の調査審議テーマ 「参加・協働の拠点としての区役所」

4 目区 つ指役 のす所 柱 が	1 地域の課題を発見し、迅速・的確な解決を図る区役所 市民生活に身近な課題について、地域の総合行政機関としての区役所が果たす役割が高まっており、迅速かつ的確な解決を図っていく区役所を構築する。	2 地域活動や非営利活動を支援する市民協働拠点としての区役所 子育て、高齢者、環境、防犯・防災など、市民が自ら地域課題の解決に取り組む活動が活発に行われており、これらの活動を一層推進し、支援する市民協働拠点としての区役所を構築する。	3 市民に便利で快適なサービスを効率的かつ効果的に提供する区役所 市民のライフサイクルや生活サイクルの変化・多様化が進む中で、利便性の向上とより効果的・効率的なサービスの提供を進	4 地域住民の総意に基づく自治を 実践する区役所 区における様々な課題を迅速かつ的確に解決し、地域における自治を着実に実践できる区役所を構築する。
---------------------------	--	--	---	---

委員会での 事例検討テーマ	○みどりのまちづくり、 公園を活用したまちづくり (高津区・宮前区における主な事例) ・地元住民組織による公園管理 ・公園調査プロジェクト ・「遊びの出勤」 ・「冒険遊び場」モデル事業	○生涯学習と市民活動との連携 (高津区・宮前区における主な事例) ・生涯学習支援課と地域振興課等の連携と役割分担の明確化 (「高津区子ども・子育てフェスタ」「大人の文化祭inみやまえ」) ・地域人材育成指針の策定	○コミュニティづくり (川崎区・中原区における主な事例) ・転入者等に対する町内会・自治会エリアマップの配布 ・大型集合住宅管理組合への個別訪問によるヒアリング ・大型集合住宅住民を対象とした地域デビュー講座、シンポジウム等の開催	○利便性の高い快適な窓口サービスの提供 ○区役所と支所、出張所等の機能再編の取組 ○区役所等庁舎の計画的・効率的な整備	○区における総合行政の推進 ○区役所の予算機能の強化
	○子ども・子育て支援 (川崎区・中原区における主な事例) ・区子ども総合支援計画の策定 ・入学準備支援事業 ・子育てサロン ・子育て支援者養成講座	○スポーツのまちづくり (高津区・宮前区における主な事例) ・区のスポーツ活動のネットワーク化 ・NPO、企業と連携したスポーツによるまちづくり ・地域特性を踏まえたスポーツセンターの運営、事業の実施	○新たな地域活動の担い手 (川崎区・中原区における主な事例) ・シニアパワー事業による様々な活動への参加促進 ・シニアの社会参加支援事業 ・自転車と共生するまちづくり委員会による放置自転車		○区民会議 (※第5回委員会で審議)
		○市民活動の拠点 (※第5回委員会で審議)	○市民提案型事業 (※第5回委員会で審議)		

委員会での 主な意見	・公園は、すべて一律でなく、公園ごとにいろいろな機能(プレーパーク、ドッグランなど)があつてよいのではないかと。 ・町内会・自治会館などを子育てサロンなどの場としてもっと活用していく。地域の活動団体に場を運営してもらうようなことも考えていく必要がある。	・市民館で講座を提案するときには、講座終了後の形をあらかじめ決めて応募している。講座が終わった後に「活動」に結びつかないと単なる「お勉強」の場になってしまう。 ・宮前区の公園体操の例では、地域での協働に必要な人材を生涯学習拠点である市民館を使って育成している。人材育成と公園という地域の活動拠点の活用とがうまくつながっていると思う。 ・10~30代はなかなか地域での活動に出ないが、スポーツには世代を超えて人を引き付ける力がある。スポーツのネットワークづくりを進めてほしい。 ・高津スポーツセンターでは、地域のスポーツ拠点がスポーツをやらない人にとっての「参加の場」にもなっていて、異なる分野のつながりができてきていると思う。 ・町内会・自治会と市民活動団体が連携することで効果的なことができる。性格の違う組織をつなげる役割には行政が関わることが必要。 ・大型マンションでのロビーコンサートなど、身近なところで参加しやすいイベントができるのはよい取組だと思う。 ・これからの行政の役割として、将来の展望やビジョンを打ち出して、市民に示しながら一緒に取り組む姿勢や情報提供	・窓口では職員が機転を利かせて必要な書類をそろえたり、手続の説明をするなど、対応が柔軟・丁寧になっていると感じる。 ・市民と行政との協働のはじまりは「窓口の仕事」だと思う。お互いの信頼に基づいたよい関係づくりが大事になってくる。 ・連絡所などの機能再編について、証明書発行のための「端末」の操作など、ソフト的にフォローする方法が必要ではないかと。	・川崎市の区役所強化は非常に進んでいる。他都市で課題である「区民への感度」も、川崎市では「区民会議」を導入し、さらなる区役所機能の強化に向かっていると感じる。 ・市民館などが他部門と連携して大きな展開を見せているのは、区役所が区内の各部門の総合調整を行うというベースができていたからだと思う。 ・協働で行った事業を市民が参加して評価するような場がよりわかりやすい形が必要。 ・協働を進めていく中では、ハードルが高く、できないことも多いが、よりよい方策の提案
---------------	---	---	---	---



委員会報告(まとめ)